

保護者の皆さま

2019年度グローバル・アクション・プログラム (GAP)
「World Youth Meeting (WYM) 2019」追加募集について (案内)

初夏の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、本校の教育活動の推進に御理解と御協力をいただき、まことにありがとうございます。
さて、標題の事業について、参加生徒及びホストファミリーの追加募集をさせていただきます。
応募を希望される方は、担当より申込書入手し、課題作文を添えて7月1日(月)17:00までにグローバル教育推進室まで御提出ください。(本案内及び申込書は本校HPにも掲載します。)

記

- 1 事業名 「第21回 World Youth Meeting (WYM) 2019」
- 2 主催 World Youth Meeting 実行委員会・日本福祉大学国際福祉開発学部
- 3 日程 2019年8月1日(木)～6日(火)
※8月1日(木)台湾生徒受入れ・交流
8月2日(金)～4日(日)本校でプレゼン準備
8月5日(月)～6日(火)プレゼンテーション大会〔1泊2日〕
- 4 追加募集 2年生～5年生 3名(今回追加募集する台湾受入れ生徒は男子1名、女子2名)
※ホームステイ受入れは8月1日(木)～8月5日(月)朝まで
※本プログラムは12月に台湾高雄にて実施する「ASEP (Asian Student Exchange Program) 2019」と連動したプログラムです。4、5年生で台湾研修参加を希望する人は本大会を経験しておくことがのぞましいです。
※また、ホームステイを受け入れてくださいますので、他の海外派遣プログラム選考の際にも一定の考慮をさせていただきます。
※ホームステイの受入れのみの方も歓迎いたします。応募者多数の場合は、プログラム全日程参加生徒を優先します。
- 5 内容 本校交流校の台湾高雄師範大学附属高級中学の男子2名、女子5名をホームステイで受入れ、本校でプレゼンテーション(英語)を協働で作成し、8月5日(月)・6日(火)に日本福祉大学東海キャンパスにおいて開催されるプレゼンテーション大会で発表する。大会テーマは、「A Sense of Inclusiveness」(あなたの目に映る私。)

inclusivenessについては以下のHPを参照してください。
<http://www.econetworks.jp/translationtips/2016/04/inclusive-2/>
 ・inclusive 「包摂的な」の反対語はexclusive
 ・exclusive
 は「排他的な、閉鎖的な」貧困層や女性、子どもなど「弱い立場にある人々」は、教育や雇用の機会、金融へのアクセスなど、社会のさまざまなシステムから排除され、さらなる貧困など困難な状況の悪循環
 ・inclusive は、non-exclusive、つまり「誰も排除しない」
 全国からの高校生・大学生、海外参加国の高校生・大学生が参加します。

- 6 費用 後期課程生徒についてはプレゼンテーション大会に係る交通費(JR住吉駅起点)を本校経費より支援します。宿泊費その他個人経費(食事代等)(約1万円)は自己負担をお願いします。
ホームステイについては、空港出迎え費用及び台湾生徒の御自宅から学校まで及びプレゼンテーション大会会場までの交通費を本校経費より支援します。要支援家庭の生徒には宿泊費についても支援します。
- 7 選考方法 応募書類を英語力等とあわせて審査し、参加生徒を決定します。
必要に応じて面接(日本語及び英語)を実施します。
- 8 応募方法 応募用紙を担当者より入手し、7月1日(月)17:00までにグローバル教育推進室に提出してください。
- 9 照会先 グローバル教育推進室 岩見(本事業担当・引率)
(TEL 078-811-0232)